

第3回 全日本学生選手権オムニアム大会で優勝 自転車競技部 橋本優弥さん

7月13日、14日に長野県美鈴湖自転車競技場で行われた「第3回全日本学生選手権オムニアム大会」において、鹿屋体育大学自転車競技部の橋本優弥さん（スポーツ総合課程4年）が優勝を果たしました。橋本さんは7月6日、7日に行われた第60回全日本学生選手権トラック自転車競技大会でも、女子ポイントレース、3kmインディビデュアル・パシユート、石上夢乃さん（スポーツ総合課程1年）と出場したマディソンの3種目で優勝し、2大会合わせて4冠達成の快進撃を続け今後の活躍が期待されております。



オムニアム選手権での橋本優弥さん(中央)

今大会を振り返り、橋本さんは「2つの大会で合計4冠できてとてもうれしい。日頃の練習の成果がこうして結果に結びついてくるとモチベーションアップにもつながる。最後のインカレではライバル選手からのマークが激しくなると思うが、鹿屋体育大学の校旗を最も高いところに掲げられるよう全力を尽くしたい」、指導をしてきた同大学の黒川剛監督は「海外遠征を繰り返す。エースとして、楽しく走る。鹿屋スピリッツを忘れず、最後のインカレで総合優勝を奪還してほしい」と話しました。

入間市市民体育館（埼玉県）で8月11日に開催された第58回全日本学生なぎなた選手権大会において、なぎなた部の春山りんかさん（武道課程2年）が試合競技個人で優勝しました。春山さんは昨年に引き続き連覇を達成。試合後春山さんは「今回優勝できたのは多くの支えがあり達成できたものだ」と強く感じております。この結果に満足することなく、新たな目標に向かい、精進して参ります」と今後の決意を語りました。

「国体予選の試合後で疲労の残る体力を考慮した作戦だった」と語るキャプテン奥田雄大さん（スポーツ総合課程4年）の言葉どおり、最後まで守備ラインを崩さな



第58回全日本学生なぎなた選手権大会

また、チーム一丸となり優勝を目指して挑んだ団体の部は決勝戦まで駒を進めましたが、昨年度の優勝校に1本の差で惜敗し準優勝、演技競技ではベスト8となるりました。なぎなた部の長の北希織さん（武道課程4年）は「今回の大会では部員全員が、優勝という同じ目標に向かって戦うことができた。目標とするところにはあと一歩のところまで届きませんでした。日頃の稽古の成果を十分に出すことができ、大きな達成

「ワンチャンスを生かせず悔しいが、J1チームと戦えて得たものを総理大臣杯で生かしたい」と試合後のインタビューでFW10番の藤本一輝さん（スポーツ総合課程3年）は答え、次への闘志を燃やしていました。

感を得られました。顧問の山田先生をはじめ本学のすべての方々、鹿児島県なぎなた連盟の先生方、OB・OGの先輩方に感謝の気持ちでいっぱいです」とお礼の言葉を述べました。

近年、教育機関では「教育改革」が積極的に行われている。本学も例外ではなく、学びや教育の内容に一定の方向づけを行うことが求められている。社会のニーズに対する方向づけである。大学ではこれをディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）と呼び、「この大学では〇〇な人材を育成・輩出します」と社会に対して宣言を行っている。▼本学でも教職員が一丸となり、ディプロマ・ポリシーに対応した教育の質を保証するため、教育改革に取り組んでいる。その一環として、GPAやPROGテスト、本学が開発したSCCOTによる学生の学修成果の可視化も行っている。詳細は、NIFSA P ne wsや有志者パンフレット、ホームページ（http://apnfsk.ac.jp/）にも掲載されているので、ぜひお目通しいただきたい。▼

お目通しいただきたい。▼方向づけと聞く少し窮屈な印象があるが、一方で学生の個性を伸ばすことも教育改革の重要な課題である。本学では、一般にラーニング・コモンズと呼ばれる学修スペースを複数設置し、主体的な学びを促す工夫を行っている。社会では、平均的に何でもできるジェネラリストだけでなく、得意に秀でたスペシャリストを求める声も大きい。自動化が進むAI時代、主体的に学び、独自の感性・創造力を育むことが一層大切になるだろう。

(R・K)

羽ばたけ 大空へ



編集・発行 / 公益財団法人 鹿屋体育大学 体育・スポーツ振興教育財団 〒891-2393 鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学内 0994-46-4827 (直) 編集兼発行人 風呂井 敬

天皇杯第99回全日本サッカー選手権大会 3回戦好戦を繰り広げました!



い完璧な守りを見せた同大学でしたが、後半残りわずかのタイミングで惜しくも失点。しかし粘り強く戦う姿勢がオウンゴールをよび、延長戦となりました。結果は延長戦後半の終了間際まで一進一退で、120分を戦い抜こうとした瞬間の一瞬でゴールを決められ、初の3回戦突破とはなりませんでしたが、J1にひけをとらない力を十分に見せつけてくれました。

わかくさ

スポーツを愛する すべての人とともに

ミズノスポーツ振興財団は、スポーツの振興・普及を目指し、スポーツを愛する人たちを応援しています。

令和2年度学生募集のお知らせ ~推薦入試及び一般入試~

●推薦入試

1. 募集人員	体育学部	スポーツ総合課程	50人
		武道課程	20人
		合計	70人

2. 推薦要件

推薦入試に出願できる者は、次の(1)～(5)のすべてに該当する者とします。

- (1) 次の各号のいずれかに該当する者で出身学校長が責任を持って推薦し得る者(既卒者については卒業後1年以内)
 - ① 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
 - ② 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
 - ③ 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者
- (2) 本学が定めた強化種目において、以下のいずれかの競技成績をあげた者

- ◎強化種目: [スポーツ総合課程]
 - 陸上競技、体操競技、水泳、バスケットボール、サッカー(男子)、テニス、バレーボール、海洋スポーツ(セーリング、ローイング)、自転車競技
 - [武道課程]
 - 柔道、剣道、なぎなた(女子)

①スポーツ総合課程

- (個人種目)
 - ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者
 - ・公式ランキング16位以上の競技成績を有する者
 - ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者
 - ・ブロック大会の種目別・団体総合ベスト8以上の競技成績を有する者(テニス、体操競技、駅伝)
- (団体種目※)
 - ・全国大会又はブロック大会に出場した競技成績を有するレギュラーメンバー
 - ・ブロック単位での優秀選手、強化選手

- ※団体種目とは、バスケットボール、サッカー(男子)、バレーボールの種目を指します。
- ②武道課程
 - ・全国大会ベスト16以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
 - ・ブロック大会ベスト8以上の競技成績を有する者(団体はレギュラーメンバーのみ)
 - ・ブロック単位での優秀選手、強化選手
 - ・金鷲旗高校柔道大会又は玉竜旗高校剣道大会において連続15人以上勝ち抜いた者

- (3) 当該スポーツ・武道の分野においてその活動を継続し、競技力の向上に努める者
- (4) 調査書の全体の評定平均値が3.0以上の者
- (5) 本学の教育課程を履修するための学力を有する者

3. 選抜日程等

出願期間	令和元年11月1日(金)～11月6日(水)
選抜日程	令和元年11月21日(木)・11月22日(金)
合格者発表日	令和元年12月4日(水)

4. 選抜方法

推薦入試は、出身学校長の推薦に基づき、本学が行う試験(小論文、面接及び実技検査)の成績、調査書、競技歴調書、推薦書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

なお、大学入試センター試験は課しません。

※実技検査の内容

下記のとおり課程別に指定した実技検査種目AからOまでの中の1種目を選択することになります。

ア. スポーツ総合課程

- A 陸上競技 B 体操競技 C 水泳 D バスケットボール
- E サッカー(男子)(フットサルを除く。) F テニス
- G バレーボール
- 海洋スポーツ(セーリング: H ヨット I ボードセーリング、ローイング: J ボート K カヌー) L 自転車競技

イ. 武道課程

- M 柔道 N 剣道 O なぎなた(女子)

●一般入試

1. 募集人員	体育学部	スポーツ総合課程	60人
		武道課程	25人
		合計	85人

2. 出願資格

一般入試に出願できる者は、次の(1)～(3)のいずれかに該当し、かつ、令和2年度大学入試センター試験の教科・科目の中から本学が指定する3教科・3科目を受験した者

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和2年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和2年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則(昭和22年文部省令第11号)第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和2年3月31日までにこれに該当する見込みの者

3. 選抜日程等

出願期間	令和2年1月27日(月)～2月5日(水)
選抜日程	令和2年2月25日(火)・2月26日(水)
合格者発表日	令和2年3月6日(金)

4. 選抜方法

一般入試は、令和2年度大学入試センター試験並びに本学が行う試験(面接、実技検査)の成績、調査書、指定調書の内容及び健康診断の結果を総合して選抜します。

※実技検査の内容

下記のとおり課程別に指定された実技検査種目又は運動能力検査(スポーツ総合課程のみ)で実施します。(AからNの中から1種目を選択することになります。)

ア. スポーツ総合課程

- A 陸上競技 B 器械運動 C 水泳 D バスケットボール
- E サッカー F テニス G バレーボール
- 海洋スポーツ(セーリング: H ヨット I ボードセーリング、ローイング: J ボート K カヌー) L 運動能力検査(検査項目: 自転車エルゴメータによる持久性テスト、垂直跳テスト、リバウンドジャンプテスト、敏しょう性テスト)

イ. 武道課程

- M 柔道 N 剣道

5. 本学が課す令和2年度大学入試センター試験の教科・科目

- (1) 令和元年度以前の大学入試センター試験成績の利用は行いません。
- (2) 国語又は数学から1教科・1科目、地理歴史若しくは公民又は理科から1教科・1科目、外国語から1科目の合計3教科・3科目を受験していることが条件です。
なお、本学が指定する教科・科目数を超えて受験した場合は、高得点となる3教科・3科目を合否判定に用います。ただし、地理歴史及び公民並びに理科の試験時間において2科目を受験する場合には、第1解答科目の得点を用います。

教科	グループ	科目	教科科目の選択の方法
国語		『国語』	左記の2教科・7科目のうちから1教科・1科目を受験していること。
数学	①	『数学I』『数学I・数学A』	
	②	『数学II』『数学II・数学B』『簿記・会計』『情報関係基礎』	
地理歴史		『世界史A』『世界史B』『日本史A』『日本史B』『地理A』『地理B』『現代社会』『倫理』『政治・経済』『倫理、政治・経済』	左記の3教科・18科目のうちから1教科・1科目を受験していること。ただし、「基礎を付した科目」については、2科目を受験していること。
理科	①	『物理基礎』『化学基礎』『生物基礎』『地学基礎』	
	②	『物理』『化学』『生物』『地学』	
外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』『中国語』『韓国語』	左記の1教科・5科目のうちから1教科・1科目を受験していること。(『英語』を選択する者は、筆記とリスニングの双方を受験すること。)

(問い合わせ先)

〒891-2393 鹿児島県鹿屋市白水町1番地 鹿屋体育大学教務課入試係
 TEL: 0994-46-4869 FAX: 0994-46-2515 E-mail: nyushi@nifs-k.ac.jp
 公式ホームページ <https://www.nifs-k.ac.jp/>

★その日のスケジュールに合わせて1時間おきにダイレクト送迎
忙しい学校生活の強い味方です!!
★提携会社による分割払いも月々5000円からご利用になれます

心豊かな車社会を願う
寿自動車学校

ご予約・お問い合わせ TEL 0994-43-2627 E-mail: info@kotobuki-ds.jp
 〒893-0013 鹿児島県鹿屋市礼元1-13-30 県公安委員会指定教習所[技能試験免除]
 ホームページURL <http://kotobuki-ds.jp>

すべての消費者のために!!

MOVE
It's your future
寿スポーツ
BE FIRST

鹿屋市礼元1丁目3番5号
TEL 0994-44-2123

バス
R269
ドラッグイレブン

鹿屋市 鹿屋農業高校
寿自動車学校

寿スポーツ

汲取の御注文
浄化槽の管理

水質安全に
全力投球

鹿屋市 株式会社 西日本浄化サービス
代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL(0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社 **レモンガス** かこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181

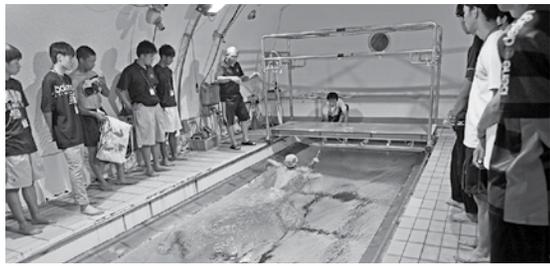
2019サマー・スポーツサイエンス キャンプを実施しました

8月6日～9日の3日間、高校生のための先進的科学技術体験合宿プログラム「2019サマー・スポーツサイエンスキャンプ in 鹿屋体育大学・スポーツ科学の最前線」From Gene to Gold」を開催しました。

このプログラムは、スポーツ科学の研究成果が、「運動パフォーマンスの向上に対して大きな役割を果たしていること」、および「国民すべての健康の維持・増進に対して幅広く応用されていること」、この2点を理解してもらうことを目的として、毎年開催されています。

今回は全国から多数の応募が寄せられ、その中から選ばれた16名の高校生が参加しました。参加者は、スポーツ生理学、心理学、バイオメカニクスに関する講義を受講するとともに、最先端の研究装置・設備を用いて実験を行うことで、スポーツと運動が人間の体に及ぼす影響や重要性について理解を深めています。

参加者からは、「最先端の機械を使うことが初めてだったのでとてもいい経験になった」「今回の経験を競技力向上につなげたい」「鹿屋体育大学には最先端の技術を学び、かつ部活動に打ち込める環境が整っており驚いた」などの感想が聞かれ、本プログラムを堪能した様子でした。



◆ご挨拶



教務課教育企画係
折田 将俊

◆よろしくお願 いします。



教務課入試係
上園 裕紀



◆よろしくお願 いします。



学術図書情報課研究支援係
山口 浩史

7月1日付で鹿屋島大
学から出向してまいりま
した教務課教育企画係の
折田と申します。

今回の出向に伴い妻と
子(2歳半)の3人で鹿
屋市に転居いたしました。

鹿屋体育大学では初
めての勤務となります
が、父の仕事の関係で小
学校2年生から3年間大
崎町に住んでおりました
ので、久しぶりの大隅半
島の生活となります。
まだ鹿屋市に転居して2
カ月ですが、とても住み
やすい環境であると強く
感じており、家族も大き
に喜んでいきます。休日に
家族で様々な場所に出か
けることが今から楽しみ
です。

7月1日付で鹿屋島大
学から教務課入試係に参
りました上園 裕紀(う
えぞの ゆうき)と申し
ます。

鹿屋島大学では5年前
に入試業務を経験してお
り、入試業務にまた携わ
れることへの緊張と期
待、当時の感覚や知識を
忘れていたことへの不
安、それぞれを感じなが
らの日々を送っているの
が現状ではありますが、
本学の入口から本学に少
しでも貢献できるよう、
志願者のサポートに努め
てまいります。

7月1日付で鹿屋島
大学から学術図書情報課
研究支援係に参りました
山口と申します。

鹿屋島大学では財務系
部署で財務会計の法定手
続き等、社会連携の部署
で研究成果の知財化、技
術移転に係る事務を、学
部の庶務担当として教授
会の取り回しなど経験し
て参りましたが、各部署
において鹿屋体大への人
事交流を経験された先輩
方が上司や同僚としてお
世話になる機会が多く、
鹿屋での経験が大変ため
になると常々聞かされて
参りました。この「ふれ
こみ」に感化されて人事
交流を希望させていただ
いたところ、今回のご縁
となったようです。

課外活動団体紹介



テニス部

私たちテニス部は、顧問の高橋仁大先生の
もと、男子16名、女子9名の計25名で活動
しています。週5日の練習で平日は2時間半
から3時間、土曜日は4時間行っています。

テニス部は1985年に創設され、今年で32
年目を迎える伝統のあるサークルです。数年
前までは九州学生リーグの2部や3部に降格
し部員が集まらない年さえありましたが、男
子は6年前、女子は7年前に1部リーグに復
帰し、再び活気のある部活になってきていま
す。過去には女子の先輩が全日本学生選手権
のシングルスでベスト4に入賞、また昨年男
子は団体戦である全日本学生王座決定戦でベ
スト8に入賞するなど輝かしい成績を収めて

きました。しかし、関東や関西のチームに比
べると個人力も団体力にもまだまだ劣って
いる状況です。

私たちはそんな状況を打破し、過去の栄光
を取り戻し、それを超えるために部員全員で
切磋琢磨しながら厳しい練習に励んでいます。

今年の9月に行われる九州学生王座決定戦
では男女ともに全国への切符を手にするこ
とを通過点とし、全国でも上位進出を目指し
ます。全国に鹿屋体育大学の名を広め、地方
からでも活躍できるということを証明でき
るようなサークルになっていきます。

今後とも応援をよろしくお願いいたします。

Kubota 農業機械
株式会社
ミズホ商会
http://www.mizuho.kubota.ne.jp
〒893-0009
鹿屋島県鹿屋市大手町12番1号
TEL (0994) 43-4178
FAX (0994) 44-9371

【営業所】
鹿屋・高山・志布志・岩川・
牧之原・野方・垂水・大根占

企業説明会用ブース
After
変わる！
魅せる！
ディスプレイで(差)がつく!!

★会社イメージの向上 ★スムーズな営業 ★統一感でさらなる魅力アップ

株式会社 新生社印刷
URL https://www.shinsei-p.co.jp 鹿屋島県鹿屋市礼元1-22-34
E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp TEL 0994(43)2238(代)

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る
SUGO HAKU
【厚感デジタル加飾システム】
KIRAMEKI

視覚と触覚で感じる
TO OUR
Welcom

印刷物へ
新たな付加価値を

大隅青少年自然の家との連携事業 第11回少年野球教室を開催！



7月15日、鹿屋体育大学で鹿屋島内の72名の中学生を対象にした少年野球教室が開催されました。同大学の硬式野球部が6年前から実施し、今回で11回目を数えたこの教室は、国立大隅青少年自然の家との連携事業として1泊2日のスポーツキャンプを行うまでに発展しました。

教室の1日目は、運動能力、投球ボールの回転数やスピードを同大学のスポーツパフォーマンス研究センターで測定し、2日目は広大な敷地をフルに活用して、守備、バッティング、走塁などの練習やホームラン競争といった新しいメニューが組まれた時間割で行われ、大きな掛け声や声援が広いグラウンドいっぱい響き渡りました。最後は参加者全員が同大学部員とハイタッチをしながら笑顔で野球場を後にしました。

第1回留学生と日本人学生のスポーツ交流イベント開催

鹿屋体育大学では7月6日、留学生8名、日本人学生26名による「第1回留学生と日本人学生のスポーツ交流イベント」を開催しました。また、アルゼンチン出身の留学生 Kano Tomoki さんを同大学バレーボール練習室で開催しました。

このイベントは国際交流センターが、留学生と日本人学生の交流を通じ、双方の積極的な異文化理解のきっかけ作りとなることを目的としておこなわれます。

イベントは留学生、日本人学生と教職員混合の10名一組で4チームを構成し、野球のストラックアウトやバスケットボールのフリースローを行い、各チームの獲得点で競いました。また、アルゼンチン出身の留学生 Kano Tomoki さんによるフリースタイルサッカーのパフォーマンスも披露され、大きな歓声や拍手が沸き起こりました。

スポーツ交流の後はL12教室にて交流会を行い、留学生と日本人学生が連絡先を交換するなどこの機会を通して交流を深めている様子が見られました。

7月9日、東京ビッグサイトで行われた第5回日本スポーツパフォーマンス学会大会で、鹿屋体育大学の鈴木智晴特任助教が学会賞、大学院・体育学研究科3年藤井雅文さん（大学体育スポーツ高度化共同専攻）が優秀賞を受賞しました。

学会賞を受賞した鈴木特任助教の研究演題は「野球投手における直球の「ノビ」や「キレ」に関する研究―初速と終速の差に着目して―」。球質測定システムを用いて得たデータにより、「ノビ」や「キレ」という感覚的な野球の表現がボールの減速量と関係していることに着目し、数値化することにより可視化しました。優秀賞の藤井さんの研究演題は「二塁走者における至適第二リードの位置取りとは―」。いずれも同大学のスポーツパフォーマンス研究センターでの活動が実を結んだ結果となりました。



7月9日、東京ビッグサイトで行われた第5回日本スポーツパフォーマンス学会大会で、鹿屋体育大学の鈴木智晴特任助教が学会賞、大学院・体育学研究科3年藤井雅文さん（大学体育スポーツ高度化共同専攻）が優秀賞を受賞しました。

学会賞を受賞した鈴木特任助教の研究演題は「野球投手における直球の「ノビ」や「キレ」に関する研究―初速と終速の差に着目して―」。球質測定システムを用いて得たデータにより、「ノビ」や「キレ」という感覚的な野球の表現がボールの減速量と関係していることに着目し、数値化することにより可視化しました。優秀賞の藤井さんの研究演題は「二塁走者における至適第二リードの位置取りとは―」。いずれも同大学のスポーツパフォーマンス研究センターでの活動が実を結んだ結果となりました。

闘いの記録 7月

【陸上競技】
◆第69回九州地区大学体育大会 (7/13~14 福岡/福岡大学陸上競技場)
▽男子 110mH 2位 堀井 直樹 400mH 2位 谷本 翔平

【男子バレーボール】
◆2019九州大学ビーチバレー男子選手権大会 (7/20~21 熊本/マリンパークビーチ)
▽男子 3位 柳、西村

【女子バレーボール】
◆第69回九州地区大学体育大会 (7/6~7 福岡/香蘭女子短期大学体育館)
▽女子 団体 3位 鹿屋体育大学

【女子バスケットボール】
◆第69回九州地区大学体育大会 (6/29~7/1 福岡/福岡大学総合体育館)
▽女子 団体 3位 鹿屋体育大学

◆第69回九州地区大学体育大会 (6/29~7/1 福岡/福岡大学総合体育館)
▽女子 団体 3位 鹿屋体育大学

【水泳】
◆第66回九州地区国立大学選手権水泳競技大会 (7/6~7 熊本/アクアドームくまもと)
▽男子 団体総合 1位 鹿屋体育大学
▽女子 団体総合 1位 鹿屋体育大学

◆第79回九州学生選手権水泳競技大会 (7/6~7 熊本/アクアドームくまもと)
▽男子 団体総合 2位 鹿屋体育大学
100m 自由形 1位 古賀 圭一郎
200m 自由形 1位 古賀 圭一郎
400m 自由形 2位 古賀 圭一郎
1500m 自由形 2位 古賀 圭一郎
100m バタフライ 1位 古賀 圭一郎
200m バタフライ 1位 古賀 圭一郎

100m 背泳ぎ 2位 古賀 圭一郎
200m 背泳ぎ 1位 古賀 圭一郎
200m 個人メドレー 1位 古賀 圭一郎
400m 個人メドレー 1位 古賀 圭一郎
400m メドレーリレー 2位 古賀 圭一郎
400m フリーリレー 2位 古賀 圭一郎
800m フリーリレー 1位 古賀 圭一郎

▽女子 団体総合 1位 鹿屋体育大学
100m 自由形 1位 鹿屋体育大学
200m 自由形 1位 鹿屋体育大学
400m 自由形 1位 鹿屋体育大学
800m 自由形 1位 鹿屋体育大学
100m 平泳ぎ 2位 鹿屋体育大学
200m 平泳ぎ 2位 鹿屋体育大学
100m バタフライ 1位 鹿屋体育大学
200m バタフライ 1位 鹿屋体育大学
100m 背泳ぎ 1位 鹿屋体育大学
200m 背泳ぎ 1位 鹿屋体育大学
200m 個人メドレー 1位 鹿屋体育大学
400m 個人メドレー 1位 鹿屋体育大学
400m メドレーリレー 1位 鹿屋体育大学

200m フリーリレー 1位 鹿屋体育大学
400m フリーリレー 1位 鹿屋体育大学

【柔道】
◆第61回全国国立大学柔道優勝大会 (7/7 東京/講道館)
▽男子 団体 2位 鹿屋体育大学

【ヨット】
◆2019年度 九州学生ヨット選手権大会(個人戦) (7/6~7 福岡/福岡市立ヨットハーバー)
▽混合 国際スナイプ級 3位 岩下、北林

【水球】
◆2019年 U23 世界選手権 (7/24~28 アメリカ/サラソタ)
▽女子 軽量級シングルスカル 13位 四方 美咲

【自転車競技】
◆第60回全日本学生選手権トラック自転車競技大会 (7/6~7 長野/松本市美鈴湖自転車競技場)
▽男子 1kmタイムトライアル 5位 黒瀬 浩太郎 7位 徳田 匠 5位 河藤 相真 6位 岸田 剛 7位 真鍋 智寛 3位 黒瀬 浩太郎 6位 黒瀬 浩太郎
ケイリン スクラッチ 5位 河藤 相真 6位 岸田 剛 7位 真鍋 智寛 3位 黒瀬 浩太郎 6位 黒瀬 浩太郎
タンデム・スプリント 5位 河藤 相真 6位 岸田 剛 7位 真鍋 智寛 3位 黒瀬 浩太郎 6位 黒瀬 浩太郎

▽女子 3kmインディヴィデュアル・パーシュート 1位 橋本 優弥 5位 石上 夢乃

500mタイムトライアル 5位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥
ポイントレース 1位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥
マディソン 1位 橋本 優弥 2位 橋本 優弥 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

◆2019年九州地域自転車競技大会 (7/13~15 熊本/五木村 五木源パーク特設コース)
▽男子 個人ロードレース 1位 重満 丈駿平 2位 石井 大樹 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

◆第3回全日本学生選手権オムニアム大会 (7/13~14 長野/松本市美鈴湖自転車競技場)
▽男子 オムニアム 1位 長松 大祐 2位 河藤 相真 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

▽女子 オムニアム 1位 橋本 優弥 2位 橋本 優弥 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

◆第6回JICF国際トラックカップ (7/13~14 長野/松本市美鈴湖自転車競技場)
▽男子 エリート1kmタイムトライアル 1位 岸田 剛 2位 田仲 智寛 3位 長松 大祐 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

▽女子 エリート500mタイムトライアル 1位 内村 風羽香 2位 橋本 優弥 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

▽混合 エリートケイリン 1位 橋本 優弥 2位 橋本 優弥 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

▽女子 エリート500mタイムトライアル 1位 内村 風羽香 2位 橋本 優弥 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

▽混合 エリートケイリン 1位 橋本 優弥 2位 橋本 優弥 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

◆2019年度 全日本学生トラックレースシリーズ 第3戦 (7/14~15 長野/松本市美鈴湖自転車競技場)
▽男子 1kmタイムトライアル 6位 高良 終也 200mフライング・タイムトライアル 3位 岸田 剛 2位 真鍋 智寛 3位 橋本 優弥 4位 橋本 優弥 5位 橋本 優弥 6位 橋本 優弥 7位 橋本 優弥 8位 橋本 優弥 9位 橋本 優弥 10位 橋本 優弥 11位 橋本 優弥 12位 橋本 優弥 13位 橋本 優弥 14位 橋本 優弥 15位 橋本 優弥 16位 橋本 優弥

▽女子 3kmインディヴィデュアル・パーシュート 5位 石上 夢乃 1位 内村 風羽香 2位 成海 綾香 3位 成海 綾香 4位 橋本 優弥 7位 石上 夢乃

松下学長(左)に受賞の報告に訪れた、鈴木特任助教、藤井さん、前田明スポーツパフォーマンス研究センター長(右)



闘いのスケジュール 10月

9日・令和元年度全日本大学対抗テニス王座決定試合 (～15 愛媛/愛媛県総合運動公園)

18日・第35回U20日本陸上競技選手権大会 (～20 広島/広島広域公園陸上競技場)

19日・第4回九州学生陸上競技新人選手権大会 (～20 長崎/島原市営陸上競技場)

20日・2019ジャパンカップサイクルードレース (栃木/宇都宮市森林公園周回コース)

27日・第67回全日本学生剣道優勝大会 (千葉/千葉ポートアリーナ)

30日・第84回全日本学生ヨット選手権大会 (～11月4日 兵庫/新西宮ヨットハーバー)

学内行事

(令和元年 10月)

1日 開学記念日

2日 授業開始

小クラス懇談会(～3日)

履修登録変更期間(～16日)

12日 第2回大学説明会

15日 AO(SS)入試第2次選考

28日 大学院修士課程入試

29日 大学院博士後期課程入試

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。

心から感謝申し上げます。

一般

カイコー(株)様(三万円)

授業料の納付について

令和元年度後期分授業料は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いたします。

1. 銀行口座引落日：10月28日(月)

10月25日(金)までに引落口座へ入金してください。

2. 授業料(半期分)：267,900円

3. 問い合わせ先：鹿屋体育大学 財務課出納係

TEL 0994-46-4840

学生宿舍経費の納付について

令和元年度後期分の学生宿舍経費は、下記のとおり銀行口座引落を行いますので、よろしくお願いたします。

1. 銀行口座引落日：令和元年10月15日(火)

10月11日(金)までに引落口座へ入金してください。

2. 学生宿舍経費：後期分(令和元年10月分～令和2年3月分)

寄宿料	25,800円 (4,300円×6ヶ月)
運営費(居室電気料含む)	57,000円 (9,500円×6ヶ月)
計	82,800円

3. 問い合わせ先：鹿屋体育大学 学生課生活支援係

TEL 0994-46-4888

蒼天祭

2019.11.23(土)～24(日)

鹿屋体育大学 学園祭・大学開放事業